

伊賀市議会だより

No.68
2022.2.1



伊賀市行政組織条例の一部改正

賛成多数で
可決

住民自治のさらなる拡充を推進する体制を構築するため、地域振興施策を統括する地域連携部を新設、また、総合危機管理課を防災危機対策局に改めるなどの改正を行います（令和4年4月1日から）

質疑（委員会）

問 局の意義は。

答 市長直轄部署という認識で設置している。

問 室の定義は。

答 室は課内室であり、重点的に取り組む業務を明確にして管理職を配属し、室として対応していきたいと考えている。

討論（本会議）

反対 支所設置条例改正に基づく行政組織の改編になっている。これらは、支所の存続を求める市民の願いに反するものである。

伊賀市支所設置条例の一部改正

賛成多数で
可決

支所の位置づけを地方自治法に基づく総合出先機関から地域における住民自治を推進するための機関へ改め、新設する地域連携部の所管とします（令和4年4月1日から）
青山支所が青山複合施設に移転することから、位置を改めます（令和4年3月22日から）

質疑（委員会）

問 支所が地方自治法の位置づけがなくなることについて、行政としてどのような変化があるのか。

答 地方自治法に定める支所というのは、総合的な業務を行うということで、今回、位置づけを変え、窓口的な業務に変えていくということで、支所にかかる職員の配置や経費の削減につながると思う。

問 将来的に支所を廃止する方針に変更はないのか。

答 将来的なことだが、デジタル化や住民の考え方など状況も変わってくると思われる。その時点であらためて必要性について検討したいと思っている。方針としては、いづれなくしていこうということに変わりないと思う。

討論（本会議）

反対 「行政ファースト」なのか「住民ファースト」なのかというスタンスが問われている。「いずれは支所をなくしていく方向」ということを行政が独断で示された行為は遺憾であり、行政には信頼関係をあらためて作り直す努力を期待したい。

反対 各種手続きや問い合わせなどの窓口業務は、生活相談業務と一体である。支所は気軽に立ち寄り、困りごとなどを解決し、寄り添って考えてくれる職員がいる場所である。住民の一番身近にあり、行政サービスを行い、住民福祉、地域福祉の増進を図るといふ支所をなくしてはならない。また、将来、支所廃止を前提とした条例改正であるため。

指定管理者の指定

全員賛成で
可決

対象施設	指定管理者	指定管理期間
史跡芭蕉翁生家	公益財団法人芭蕉翁顕彰会	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
放課後児童クラブふたば	社会福祉法人伊賀市社会事業協会	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
菜の舎	一般社団法人大山田農林業公社	
阿山交流促進施設	阿山物産振興協同組合	
小田地区市民センター	小田町住民自治協議会	
府中地区市民センター	府中地区住民自治協議会	
古山地区市民センター	古山地区住民自治協議会	
ゆめが丘地区市民センター	ゆめが丘地区住民自治協議会	
西柘植地区市民センター	西柘植地域まちづくり協議会	
河合地区市民センター	河合地域住民自治協議会	
博要地区市民センター	博要住民自治協議会	
高尾地区市民センター	高尾住民自治協議会	

「島ヶ原ふれあいの里」及び「伊賀の国大山田温泉」について

全員賛成で

可決

【議案第100号 伊賀市市税条例の一部改正】

入湯税について、一律で150円と定めていたところ、日帰りについては75円とします

【議案第109号 島ヶ原ふれあいの里の設置及び管理に関する条例及び伊賀市温泉活用施設の設置及び管理に関する条例の廃止】

賛成少数で

否決

地域の創意工夫を最大限に活かして再建を図り、地域振興に資するため、それぞれ現在の指定管理者である地元公社へ無償譲渡しようとするため、本条例を廃止しようとするものです

【議案第110号 財産の無償譲渡（島ヶ原ふれあいの里）】 審議未了

【議案第111号 財産の無償譲渡（伊賀の国大山田温泉）】 審議未了

「島ヶ原ふれあいの里」を一般財団法人しまがはら郷づくり公社へ、「伊賀の国大山田温泉」を一般社団法人大山田温泉福祉公社へ無償譲渡をします

⇒議案第109号が「否決」されたことにより、「島ヶ原ふれあいの里」及び「伊賀の国大山田温泉」の両施設は、行政財産として存続することから、議案第110号及び議案第111号は、地方自治法第238条の4第1項の規定により、譲与することができないため、採決は行わないこととなりました

質 疑 (委員会)

問 大山田財産区からはどの程度支援金が支払われるのか。

答 全体の繰入金 4,130 万円に対して、850 万円の繰入額を決議いただいたところである。

問 島ヶ原キャンプ事業については力を入れていかないのか。

答 第3・4駐車場が未利用地となっており、令和4年度にキャンプ場として整備を見込んでいる。

問 株式会社化することは考えているのか。

答 両公社とも今後の経営の中で株式会社化を見据えているとのことである。

問 株式会社の代表者が変わって、市が関知しない間に売られてしまったら、どうしようもないのではないのか。

答 契約書で転売禁止の条件を設け、抵触する場合は、市に返還される。市が知らずしてそのような状況になった場合は、しかるべきところで判断を仰ぐことになると考えている。



討 論 (本会議)

反 対 市民の財産である施設を無償譲渡するためには、経営責任のある株式会社の設立が必要と考える。それができていないということは、経営責任が明確でなく、それに伴う運営資金等の確保もできていないと思われる。今の段階では責任ある団体とは判断しがたい。

賛 成 二つの施設のあり方について、行政、指定管理者さらには、住民自治協議会の方々が時間をかけて協議を重ねられてきた。地元公社には経営理念に基づき、二つの施設が持つ様々な可能性を活かした事業実施計画の実行により、今以上に、地域振興や健康福祉の増進などに寄与し、伊賀市民また、市外の多くの方々に利用され喜んでもらえるような施設になるよう努力してほしい。

一般会計補正予算（第7号） 6億6,626万4千円の増

全員賛成で

可決

令和3年11月19日に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」のうち「こども・子育て支援」の推進として所得制限を設けて0歳から高校3年生までの子どもたちに一人当たり5万円の子育て世帯への臨時特別給付（先行給付金）を支給するための予算及び事務経費として6億6,626万4千円を計上します。

※子育て世帯への臨時特別給付金の詳細については、市HPなどをご参照ください。

一般会計補正予算（第8号） 20億1,050万7千円の増

賛成多数で

可決

【補正予算の主なもの】

●シティプロモーション推進事業

ふるさと応援基金の増額に伴う委託業者への委託料等	2億 246万 6千円
ふるさと応援基金への積立金	3億 5,403万 9千円

●ふれあいの里維持管理経費

島ヶ原ふれあいの里指定管理料	1,945万 8千円
施設改修補助金	4,070万円

●交流拠点施設維持管理経費

大山田温泉さるびの指定管理料	1,980万円
施設改修補助金	4,130万円

●旧青山支所解体等事業経費

旧青山支所建物除却工事費等	1億 2,557万 4千円
---------------	---------------

★ただし令和4年度に必要な経費は下段の債務負担行為に掲載

●新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目接種）に係る委託料	1億 1,844万 8千円
--------------------------------	---------------

●依那古小学校大規模改造事業

上野南部地区小学校区の統合先である依那古小学校校舎の改修工事などに係る経費	2億 5,874万 4千円
---------------------------------------	---------------

【債務負担行為の主なもの】

●史跡芭蕉翁生家指定管理料（令和3年度から令和6年度）	1,140万円
●地区市民センター（8施設）指定管理料（令和3年度から令和6年度）	1億 4,282万 7千円
●新斎苑整備運営事業経費（令和3年度から令和23年度）	25億 6,482万 5千円
●にぎわい忍者回廊PFI事業経費（令和3年度から令和24年度）	64億 1,900万円
●青山支所及び阿保地区市民センター解体工事経費（令和4年度）	1億 8,791万円

※債務負担行為…単年度では終わらない長期間にわたる契約などについて、将来にわたって支出しなければならない財政負担について約束するための行為のこと。

一般会計補正予算（第9号） 25億7,978万8千円の増

全員賛成で

可決

【補正予算の主なもの】

●住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	11億 3,377万 5千円
●子育て世帯への臨時特別給付（先行給付金以外）	6億 6,376万 6千円
●伊賀米等生産振興事業 伊賀米次期作支援事業補助金と事務委託料	9,307万 7千円
●忍城市プロジェクト事業 2022年2月22日の「忍者の日」に世界に発信力のあるアーティストとのコラボレーション事業	495万円
●施設改修事業（小中学校） 久米小学校屋内運動場大規模改造工事 緑ヶ丘中学校普通教室棟内部建具改修工事	1億 1,920万 7千円 5,093万円

【請願第7号の1】 荒木近隣肥育牧場による悪臭対策等について

本会議では
賛成多数で
採 択

牧場周辺を規制地域に指定し、規制基準を定め、適合しない場合は、改善勧告や改善命令を行うように求めること及び市に対して、現在の臭気判定方式の変更を求めます。
また、家畜排せつ物法や水質汚濁防止法について、適切に管理されているか関係機関に要請することを求めます。

質 疑 (総務常任委員会)

問 臭気指数方式への変更は市長権限か。また、判定方式を変える場合はどのような手続きが必要か。

答【市】 臭気指数の指定は市長権限である。手続きは、現状把握から始め、関係者からの意見聴取、その後、環境審議会に諮問し、答申を受けることになる。

問 人として普通に生活することが出来ないというのは、具体的にどのようなものか。

答【請願者】 3年前に牛舎が出来てから臭いが発生しており、我慢もしていたが、去年1年間はずっと臭い状態で、窓も開けられない状態である。毎日臭いがして、ハエも家の中に入ってくる。近隣の事業所でも同様と聞いている。

問 請願者自らが臭気を調査していることについて、どのように受け止めているのか。

答【市】 住民の皆様が困っている状況なので、臭気規制関係についても、県内事例など研究し、勉強していきたい。

討 論 (本会議)

賛 成 悪臭とハエの発生によって日常生活や事業活動に著しく支障をきたし、人として普通に生活し活動することが脅かされているという請願者の陳述や署名された地元・近隣の住民や企業の方々の思いを重く受け止めた。市民の健康と暮らしを守るために全力をあげることが重要であると考えます。

賛 成 総合計画には、環境保全、豊かな事前環境を守り次世代へ引き継ぐ。選ばれる伊賀市と記載されている。その実現のためにも、国の推奨する臭気指数方式の研究調査の第一歩、道筋をつくる。今回の悪臭問題を早期に解決を目指し、今後、問題が生じた際にぬかりない対応をとることが重要であるため。

【請願第7号の2】 荒木近隣肥育牧場による悪臭対策等について

本会議では
賛成多数で
採 択

荒木近隣に立地する肥育牧場より悪臭が漂い、洗濯物に臭いが付着し窓も開けられない日が続いています。
市や県に悪臭対策を求めても一向に改善がみられません。よって、その原因である糞尿処理及び雨水排水について、農地転用時の条件を履行することを求めます。

質 疑 (産業建設常任委員会)

問 市は当該牧場が糞尿を大山田堆肥センターへ搬出できていない状況やその理由を把握していますか。

答【市】 大山田堆肥センターは令和2年2月から操業を停止しているため搬出されておらず、他の施設等へ半分程度が搬出されている状況です。

問 市の報告書によると「当該牧場は、堆肥舎を建設したいので説明会をしたい」といった旨が記載されているが、この報告後の経過は把握していますか。

答【市】 当該牧場より地元住民自治協議会に対して堆肥舎建設の説明会や先進地視察を行い、令和3年3月に同住民自治協議会より条件付きで同意を得て、堆肥舎建設の申請を行ったが、一部住民から反対の意見があったことから、当該牧場はこの申請を取り下げ、その後は進展していません。

問 大山田堆肥センターへ糞尿を搬出することを条件として許可された農地転用申請について、他施設への搬入や堆肥舎建設などを代替措置として認めることは可能ですか。

答【市】 変更内容が目的に合致していれば、条件の変更は可能であり、問題ないと考えられます。

問 雨水の地下浸透については、土壌汚染など環境問題につながる危険性があると思われるが、現状はどのようになっていますか。

答【市】 1棟目が建設された当初は、雨水を地下浸透させていましたが、3棟目建設後の現在は、計画通り排水されています。

討 論 (本会議)

賛 成 公共性の高いクラスター事業に対して悪臭に苦しむ住民から苦情が出されており、行政が課題解決のために積極的に関わるのは当然であり、当該事業が健全に発展していくためにも市が責任をしっかりと果たしてもらうことを願って賛成する。

賛 成 クラスター事業のかじ取りをする市や県は、関係各署との連携及び住民や当該牧場との関係について反省し、市は許可した立場として書類に記載された決めごとを履行させるという強い決意のもとで対応していただきたい。

議員発議

定期接種の機会を逃した女性に対するヒトパピローマウイルスワクチン接種機会の確保ならびにより効果の高いがん予防対策を求める意見書の提出

賛成多数で
可決

定期接種の機会を逃した女性に対し、接種機会の確保ならびにより効果の高いがん予防策を行い、守れる命と健康を守るために、この意見書を国の関係機関に提出します

(概要)

1. 定期接種の接種機会を逃し、HPVワクチンの任意接種を希望する女性に対して、経済的負担を軽減するための措置および財源の確保を行うこと。
2. 定期接種の接種機会を逃し、既に自費で接種した女性への償還払いを、前項の措置および財源の確保の対象に含めること。
3. 9価のHPVワクチンを定期予防接種に使用できるよう、早急に対応を行うこと。
4. 男性も定期予防接種の対象とすること。
5. 接種を躊躇せず安心してHPVワクチンによる子宮頸がん予防が行えるよう、有害事象に対する診療体制の強化および新たな補償制度を確立すること。

伊賀市子どもたちをインターネットを通じて行われるいじめから守る条例の制定

賛成少数で
否決

伊賀市は子どもを宝と主要施策の柱に置いていることから、潜在化する傾向にあるインターネットを通じて行われるいじめに焦点を当てて、そこから子どもを守るために、この条例を制定します

審議した議案と各議員の賛否

○：賛成 ×：反対 ー：採決に入っていません

件名	賛成 反対	議決結果	釜井敏行	北山太加視	西條工リ子	西田方計	濱瀬達雄	増田雄	森中秀哲	川上善幸	北森徹	西口和成	福岡正康	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	市川岳人	赤堀久美	田中覚	上田宗久	近森正利	中谷一彦	百上真奈	中岡久徳		
請願	荒木近隣肥育牧場による悪臭対策等についての請願書【請願第7号の1】	13：8	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	荒木近隣肥育牧場による悪臭対策等についての請願書【請願第7号の2】	14：7	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
市長 提出議案	令和3年度伊賀市一般会計補正予算(第8号)	18：3	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	伊賀市行政事務事業評価審査委員会条例の制定	20：1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	伊賀市行政組織条例の一部改正	19：2	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	伊賀市支所設置条例の一部改正	16：5	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	島ヶ原ふれあいの里の設置及び管理に関する条例及び伊賀市温泉活用施設の設置及び管理に関する条例の廃止	7：14	否決	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
	財産の無償譲渡(島ヶ原ふれあいの里)		審議未了	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
財産の無償譲渡(伊賀の国大山田温泉)		審議未了	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
議員 提出議案	定期接種の機会を逃した女性に対するヒトパピローマウイルスワクチン接種機会の確保ならびにより効果の高いがん予防対策を求める意見書の提出	18：3	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	伊賀市子どもたちをインターネットを通じて行われるいじめから守る条例の制定	5：16	否決	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
全員賛成で可決(同意を含む)した議案 (百上議員は欠席のため※印の採決に入っていません。)																										
市長 提出議案	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 令和3年度伊賀市駐車場事業特別会計補正予算(第1号) 令和3年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) 令和3年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 令和3年度伊賀市病院事業会計補正予算(第2号) 令和3年度伊賀市水道事業会計補正予算(第1号) 令和3年度伊賀市下水道事業会計補正予算(第1号) 伊賀市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特例に関する条例の制定 伊賀市市税条例の一部改正 伊賀市生活館条例の一部改正 伊賀市障がい者支援多機能型事業所の設置及び管理に関する条例の一部改正 伊賀市国民健康保険条例の一部改正 伊賀市資源循環型農業推進施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 													<ul style="list-style-type: none"> 伊賀市建築基準法等関係手数料条例の一部改正 伊賀市地区市民センター条例の一部改正 伊賀市上野図書館設置条例の一部改正 希望ヶ丘コミュニティセンター設置条例の廃止 訴えの提起 指定管理者の指定(史跡芭蕉翁生家・放課後児童クラブふたば・菜の舎・阿山交流促進施設・小田地区市民センター・府中地区市民センター・古山地区市民センター・ゆめが丘地区市民センター・西柘植地区市民センター・河合地区市民センター・博要地区市民センター・高尾地区市民センター) 伊賀市・名張市消防通信指令事務協議会の設置 伊賀市都市マスタープランの策定 伊賀市過疎地域持続的発展計画の策定 令和3年度伊賀市一般会計補正予算(第7号)※ 令和3年度伊賀市一般会計補正予算(第9号) 教育委員会委員の任命(谷本 景氏) 												



桃井 弘子 議員

質問項目

- 小中学校給食費無償化
- 映像通報システムの導入
- 学校教育



問 小中学校の給食費無償化に対する市長の見解は

答 早ければ2023年4月から実施します

健全な食生活の担保と子育て世帯の経済的負担の軽減を目指します。



問 映像通報システムを導入すべきでは

映像通報システムの活用により電話だけ

では分かりづらい現場の状況を映像で共有でき、現場に向かう消防隊や救急隊等の事前の備えや応急処置の対応の指示等が的確に行えるようになります。令和6年開始の名張市と共同運用で導入すべきでは。

答 導入に向けて検討します

映像通報システムは、通報者が伝えきれない状況を音声に加えてリアルタイムに動画でも通報できるシステムです。導入に向けて運用方法、導入費用、維持管理費等の課題を整理し、名張市消防との協議を行います。

また、可能であれば市単独での早期導入も併せて検討します。

山下 典子 議員

質問項目

- 職場環境の改善
- 新しい働き方の支援
- 地下水の調査
- 伊賀支所



問 テレワーク等新しい働き方への支援は

空き家や空き店舗等をサテライトオフィスとして活用したテレワーク等新しい働き方を検討している企業や創業者への支援策は。

答 IT導入補助金、オフィス減税等があります

地方拠点強化税制としてこれらの制度がありますが、対応できないものがあれば、空き家対策室をはじめ庁内で検討を進めていきます。

問 伊賀支所の移転する時期と移転先の建物は

耐震性が基準を満たしていない伊賀支所は、JR新堂駅前に建設予定の民間事業者の施設に移転すると聞いていますが、その時期と建物の内容は。

答 令和5年夏～秋に移転予定です

令和5年夏～秋までは現在の伊賀支所庁舎を使用します。

また、民間事業者のマスタープランによるとJR新堂駅南側の施設は、東側から図書館、公共施設スペース、金融機関等で、それぞれ独立した建物が予定されています。

百上 真奈 議員

質問項目

- 駐車場管理問題のその後
- がん患者の治療と就労・社会参加等の両立支援



問 がん患者が自分らしく生きられる支援を

一生のうち、がんと診断される確率は、男女とも2人に1人ですが、医療の進歩に伴い生存率も高くなってきています。がん治療を受けている方の就労や社会参加を支援するために、^(※)アピアランスケアの一つとして、高額な医療用ウィッグや乳房補整具などの購入費を一部助成する自治体が増えていますが、三重県内にはありません。

がん患者の精神的苦痛を軽減し、自分らしく安心して生きられるよう購入費助成を行ってください。

答 今まで以上に検討します

がん患者の方々には、治療と仕事などを両立していただくために、医療用ウィッグなどが必要なものと思っています。三重県がん相談支援センターで患者の声や相談内容をお聞きし、行政のできる支援について、今まで以上に検討します。

※アピアランスケア：医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア

一般質問

釜井 敏行 議員

質問項目

- 伊賀市の核兵器廃絶にむけた取り組み
- 同和行政
- 生活保護
- 米価下落に対する市独自の支援策



問 原爆パネル展で「核兵器禁止条約」の紹介を

答 検討します

現在は核兵器の恐ろしさを伝えるものに変化していますが、核兵器禁止条約について客観的・中立的なパネルの展示を検討します。

問 人権問題に関する市民意識調査の見直しを

市民意識調査は偏見を招く恐れがある。やめることも含めて、内容・方法の見直しが必要では。

答 調査は実施しますが、内容を検討します

偏見を招く恐れがあるとは考えていませ

んが、今後の市民意識調査の際には、いただいた意見も含め設問を検討します。

問 生活保護の理念を学校での人権教育で学ぶことが大切では

答 検討します

中学3年生の公民の授業で生活保護について学んでいますが、人権教育においても学ぶ機会も必要だと考えていますので、各学校と検討していきます。

問 米価下落に苦しむ生産者に、直接支援を

答 必要だと考えています

収入補填制度に未加入の生産者にもなんらかの支援が必要だと考えています。

西口 和成 議員

質問項目

- 子どもを取り巻く環境
- 岡本市政に求められていること



問 子どもたちを水難事故から守るために、ライフジャケットを教育現場で取り入れては

伊賀市には、大小河川、側溝や用水路、ため池など多くの水場があります。ライフジャケットの使用方法是はじめ普及啓発をするべきです。

答 コロナ禍でプール授業が実施できない中、事故防止に学校をはじめPTAや地域で協力しています

着衣水泳やライフジャケットの使用について学ぶことは、大変重要であると認識しています。今後、ライフジャケットの有効性についても、必要に応じて指導の中に入れられないか検討していきます。

問 通学路の維持修繕に、ふるさと応援寄附金を活用しては

通学路の課題として側溝や用水路の暗きょ化、白線の引き直しなど多くの課題があります。

答 通学路の維持修繕の財源にふるさと応援寄附金を活用することは、使途目的の『市民の暮らしの「安全・安心」を確保するまちづくり』に該当するため適当です。なお、通学路の修繕には、有利な補助金等が使える場合がありますので、不足分について活用します。

宮崎 栄樹 議員

質問項目

- 持続可能な空き家対策
- 環境センターのあり方
- 青山地域のごみ分別



問 空き家対策室の体制強化は

現在、市内の空き家は、ほぼ横ばいですが、2020年をピークに高齢者のみの世帯数が減少していくことで、空き家の増加が予測され、空き家対策室の業務の増加が想定されます。行政のスリム化が進められる中で、空き家対策を持続できる仕組み・体制にすることが求められます。来年度から空き家対策室を建設部に移管しますが体制強化されますか。

答 建設部と協議を進めています

建設部に配置されている建築士を担当させることで、従来以上に適切かつ迅速に業務を実施できると考えます。

問 環境センターの体制強化は

現在、環境センターの技術職員は3名体制ですが、数年後には2名が定年退職されると聞きます。技術職員の確保や経験の継承、少人数体制についてどのように取り組みますか。

答 ベストミックスで考えていきます

本庁との連携や高度な分析を民間委託するなどベストミックスで考えていきます。

一般質問

森中 秀哲 議員

質問項目

- 公正で透明度の高い行政運営に向けて



問 「議員の質問を封じる発言」への総務部長の見解を

事業者から相談を受けた「市職員による見積書不適切入手指示」事例を一般質問として通告したところ、総務部長・総務課長より反問に言及して質問に圧力を加える発言がありました。見解を伺います。

答 不適切な発言でしたお詫びします

問 数者分の見積書入手を1者にまとめて指示する不適切な運用、入札回避のため意図的に分割発注している実態はありませんか

不適切な見積書入手実態の情報提供が、事業者と市職員からありました。また「最小の経費で最大の効果」という地方公共団体の原則を損なう分割発注はないか調査し、疑いのある事例が複数ありました。監査委員と市の見解を伺い、実態の徹底調査を求めます。

答 運用実態について徹底した調査をします

昨年度の定期監査で、改善を求め、措置された、意図的な分割発注と思われる契約がありました。今年度も可能性のある事例があり、調査中です。（監査委員）

分割発注や見積書入手の不適切な実態がないか、徹底調査します。（総務部長）

北森 徹 議員

質問項目

- 成人式



問 従来どおりの二十歳で成人式のお祝いをしてください 市長の独断で、伊賀市の成人式開催を18歳に変えたのでは

民法改正により18歳で成人は、理解しています。

成人式を開催するのは法律ではなく、各自治体の判断です。

成人式はいったい誰のための式典なのか。市の独断で、市民の声を聞かずに再来年から18歳で成人式を開催するといっても、誰がそんなん聞きますか。

18歳で市主催の成人式をして、補助金を出すから20歳で自分たちのお祝いの会をしたらいいとか、そんなん求めています。

これを独裁と言わず、忖度と言わず、何と言うのか。皆で話し合っ、市民の声を聞いて合意形成がなされた上での18歳成人式なら誰も文句を言いません。18歳で成人式を開催するにしても、20歳で開催するにしても、決定のプロセスが大事です。そこを言っています。

答 私どもは法令に従い、教育委員会ともしっかり話をして決断したので、独断ではないです

西田 方計 議員

質問項目

- 郷土の未来を切り拓くための学校教育・社会教育
- 人権意識の実態と住民への啓発・住民による学び



問 市章や市歌等を使って郷土への関心を

学校は子どもたちの生活の場、また地域に開かれた場です。伊賀市民のアイデンティティを培うひとつのツールとして市章・市歌等を広く教材化してください。

答 市章・市歌に加え、市の花・木・鳥とともに、副読本ともども郷土の教材として機会をとらえて活用していきます



▲伊賀市の花「ササユリ」



▲伊賀市の木「アカマツ」



▲伊賀市の鳥「キジ」

問 意図して地域での学びに支援を

学校の統廃合により、弱くなった地域での学習を社会教育行政の責任でしっかり支援をしてください。

答 今後、新しいしくみのもと、実態をふまえて生涯学習支援員らが支援していく所存です

問 社会教育分野における人権の学び、充実を

答 今後も「同研活動」と連携して体系的な学びを組み立てていきます

一般質問

上田 宗久 議員

質問項目

- 農林業振興の現状と今後の課題
- 太陽光発電設備の設置に関して



問 米価の下落はコメ農家の経営を直撃しています
伊賀市の支援策の考えは

今年度産の米価の値下がり、地域営農の核となっている大規模稲作農家や営農組合法人の経営を直撃しています。松阪市など他市の例に見られるコメ農家支援策を伊賀市では、どのように捉えられていますか。

答 補助対象の検討を進めています

大規模、小規模農家とも、ナラシ対策や収入保険に加入しているとは限りませんので、伊賀市でも補助の対象とする検討を進めているところです。

問 「伊賀市未来の山づくり協議会」設立の目的は

国では国産材などの林業資源の活用の機運が高まっています。この局面で「伊賀市未来の山づくり協議会」が昨年設立されました。設立の目的を伺います。

答 「魅力ある林業」は人材育成から

官民連携の森林整備や人材育成による担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発の取り組みを目指しています。

西條 エリ子 議員

質問項目

- 女性の健康推進
- 水稲作付農家支援の取り組み
- 廃校利活用プロジェクトチームの進捗



問 コロナ禍における子宮がん、乳がんの検診の取り組みを

新型コロナウイルス感染症により全国的にがん検診の受診率が低下していますが、特に女性特有のがん検診の受診状況と受診率向上のための取り組みを伺います。

答 集団がん検診では低下傾向がみられましたが、個別検診では増加傾向です

集団検診では、感染症対策を徹底しウィズコロナのがん検診を実施していきます。ケーブルテレビやホームページでの啓発、土日や託児付検診日の設定等で受診率向上に取り組んでいます。

問 子宮頸がんワクチンの教育現場での取り組みを

ワクチンの積極的勧奨の再開により定期接種世代への情報提供、性教育はどうされていますか。

答 小学校3年生から保健学習が始まり、感染症等の学習をしています

中学校では、性意識やがん予防等を学びます。教育現場において、ワクチンの適切な情報提供に努めます。

田中 覚 議員

質問項目

- 伊賀市政の信頼度（その3）グレートリセット



問 グレートリセットの好機では

コロナから2年、行政依存度の高い体質から、共創の街づくりに転換すべきです。

答 パラダイム転換の時期です

コロナ禍は大きく世の中の転換期と考えます。

問 地元要望型行政にグレートリセットを

職業としての公務員、つまり発見力や解決力と意識改革が必要です。

答 ご指摘のとおりです

問 企業支援にグレートリセットを

市内の企業や進出を模索している企業が

求める物は水です。水道水の大口利用者への支援を続けるべきです。

答 財政部局との調整が必要ですが、ご指摘のとおりです

問 文化行政にグレートリセットを

DXは行政改革だけのものではありません。バーチャルな美術館や博物館、指定文化財や歴史遺産などの活用が考えられます。

また、来年4月から文化財保護法改正により、地域の文化の伝承のために登録制度の活用を求め、同時に体験的学習活動等休業日の活用で、地域文化がより伝承されます。

答 総合的に、可及的速やかに整えてまいります

一般質問

福岡 正康 議員

質問項目

- 伊賀市民の求める図書館
- 農林業の将来のあり方
- 下水道



問 伊賀市民の求める図書館は

伊賀市新図書館の管理方法は、直営ですか指定管理ですか。また伊賀市民のための図書館を明確にするため、伊賀市図書館条例を制定されたらどうですか。

答 図書館の運営は直営で実施します

運営業務はSPCが行いますが、市職員を配置し、最終的な決定権の保持と運営の監理を行う直営方式とします。

問 農林業の将来のあり方は

緊急間伐事業ですが、令和2年度実績で事業費約590万円に対して検査費が約90万円かかっています。三重県が実施してい

る面検査にすれば、検査費が安くなり、補助金をより有効に活用できるのではないですか。

答 三重県へ制度要望を行います

農地集積協力金・規模拡大交付金等の増額など地域や担い手にとって、より良い制度となるよう国や県に要望していきます。

間伐検査については、伊賀市は本数検査を実施します。

問 下水道使用料の考え方は

答 下水道使用料の一元化を検討していきます

中谷 一彦 議員

質問項目

- 地域公共交通計画
- 社会的孤立者に対する支援
- 紙おむつ専用袋の減免制度
- 奨学金返還支援で若者の地方企業への就職と定着を推進



問 伊賀鉄道の収支実績は予想以上のマイナスです

令和元年度、令和2年度の経常損失はそれぞれ▲83,314千円、▲120,104千円で、目標額▲40,000千円から大きく乖離しています
その改善策は

答 再構築実施計画の中間年の本年度で評価・分析を実施

社会的背景から非常に厳しい取り組みですが、市民の方に伊賀線を使っていただくこと、乗っていただく啓発を行い、業務改善を図り経費削減に努めます。

問 失業や貧困などの課題が表面化している中、社会的孤立者に対する伊賀市相談窓口は

答 内閣府の調査を伊賀市人口で当てはめると伊賀市のひきこもり、それに近い状況の方は、推測760人です

相談窓口は伊賀市健康福祉部生活支援課、社会福祉協議会のくらしサポートセンターの2ヶ所と、電話相談ひきこもりサポート事業^{ネスト}（毎週水・金、13時から16時半）において、本人、家族だけでなく、近隣・知人の方からも相談を受けています。

近森 正利 議員

質問項目

- 太陽光発電の適切な導入
- 無戸籍者の相談支援体制
- 障がい者手帳のデジタル化



問 太陽光発電設備の設置に関する条例の制定を

資源エネルギー庁は本年、第6次エネルギー基本計画を発表しました。「事業規律の強化のために太陽光発電に特化した技術基準の着実な執行、小型電源の事故報告の強化等による安全対策強化、地域共生を円滑にするための条例策定の支援などに取り組む」と示しました。

小諸市^{こもろし}では、太陽光発電設備を用いた事業活動に伴う公害の防止、自然環境の適正な保全及び環境への負荷の軽減のため、法令等の規制がない場合を含め事業者が遵守すべきガイドラインを策定しています。

また、名張市の太陽光発電設備の設置に

係る手続等に関する条例は、地域住民への説明、市への事前協議、事業計画の作成、届け出や定期報告など、条例に基づいた手続きが必要です。伊賀市でも条例の制定を進められますか。

答 研究していきます

他市の状況を踏まえて関係部局と協議を行い研究していきます。

一般質問

濱瀬 達雄 議員

質問項目

- 保育のあり方
- 道路交通環境の整備



問 保育所の待機児童の解消は

答 現在、認可保育施設を利用する第3子以降の保育料は無償ですが、認可外保育施設を利用する第3子以降の保育料は住民税非課税世帯に限り無償です。待機児童解消につながることも考えられるため、無償化することを検討していきたいと考えています

問 市街地に保育の需要が集中しています。幼保連携型認定こども園についての考え方は

答 公立幼稚園の認定こども園化については、課題はありますが検討しています

問 子ども、交通弱者の交通安全は子ども達や交通弱者の通学道路の危険箇所について整備はできていますか。

答 保護者住民の方の声を学校ごとでまとめた交通安全プログラムにのっとり、優先順位の高いものから整備を進めています

整備の結果は学校へお知らせしていますが、今後はホームページでもお知らせします。

増田 雄 議員

質問項目

- 芭蕉ゆかりの施設を活用した地域振興
- 一般廃棄物の今後の処理



問 生誕地として芭蕉顕彰のコンセプトは

答 郷土が生んだ世界の偉人です

身近な存在として、また俳聖として、小中学校や生涯学習で学びの場を提供しています。

問 市史跡芭蕉翁生家の今後の活用は

答 まち歩きの実施地の一つとして、地域振興に寄与します

改修した施設は、見学だけでなく、和室で句会や俳句教室、ミニ講座などを実施していきたいと考えます。

歴史と忍者の観光ルートの拠点施設として、市街地での事業と連携し、地域振興に寄与していきたいと思えます。

問 一般廃棄物の今後の処理は

答 関係市と協議会を設置し、広域化の協議を進める予定です

2014年のあり方検討委員会の答申に基づき、関係市で協議会を設けて、広域化の協議を進める予定です。



(伊賀市蔵)

☆一般質問☆ 本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

政策討論会を開催しました



11月16日、「伊賀市の子どもたちをはじめ市民の事故や怪我を未然に防止すること及び通学路における危険箇所の早期改善・改修を目指す決議」について、議会として具体的にどのように取り組み、またどのような行動をとっていくかについて政策討論会を開催し、22名が出席しました。

政策討論会において通学路の点検についての提案があり、子どもたちと一緒に子ども目線・視点で通学路の危険箇所を調査し、各校と意見交換や現地調査を行いました。



1/11 柘植小学校の下校の様子



所管事務調査

個人事業者への支援について

■産業建設常任委員会 12/15■

6月議会の所管事務調査において空き店舗等情報システム整備及びコンサルタント事業について調査したことを踏まえて、現在、個人事業者も対象となる支援として実施されている「伊賀市起業・事業承継促進事業補助金」の概要や目的について、担当部局から説明を受けました。

令和元年度より、市内における新たな事業主体の創出及び市内事業者の事業の改善を促進し、地域経済の維持・発展を図るため、3つの目的別に、改修費、広告宣伝費、商品開発費など経費の一部を補助しています。

委員からは、市内全域を補助対象としつつも、場所によりめりはりをつけて補助してはどうかといった意見がありました。

「伊賀市の子どもたちをはじめ市民の事故や怪我を未然に防止すること及び通学路における危険箇所の早期改善・改修を目指す決議」について

■教育民生常任委員会 12/16■

9月議会で可決された決議に対して、通学路の安全に対する取り組みや対応状況等について担当部局から説明を受けました。

委員からは「通学路の合同点検を、市民が周知できるようにして、オープンな場としてはどうか」また、「自転車損害賠償責任保険等の加入義務化について、周知・啓発を学校も含めて取り組むべきである」といった意見があり、今後議会としてどのように取り組んでいくべきかを議論しました。

地域意見交換会を開催しました

10/21久米 11/4博要 11/6友生 11/9上野東部
11/9新居 11/10壬生野 11/12上野南部
11/17依那古 11/27高尾 1/14河合 1/15比自岐



11/4 博要地区意見交換会



11/6 友生地区意見交換会

伊賀市議会では、今年度「地域意見交換会」を開催しています。

各地区で開催した「地域意見交換会」の内容や、今後の開催予定は、市議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

伊賀市議会
ホームページ
QRコード▶



伊賀市議会議員人権研修会を実施しました



「ハラスメントのない議会をめざして

伊賀市議会議員としての人権に配慮した発言とは」

10月25日、臨床心理士 きただよしお 北田義夫さんを講師に迎え、人権問題に対する理解と認識を深め、市議会議員としての意識向上を図るため「伊賀市議会人権研修」を実施しました。

研修内容は、コントロール不能な怒りを切り抜ける技術の話をもとに、相手への気持ちの伝え方を再確認しました。

これからも、市民の皆さんから選ばれた代表者としての責務を自覚の上、より豊かで確かな人権感覚を身につけていきます。

伊賀市・名張市議会連絡協議会議員研修会を実施しました

「VUCA時代における地方議会の展望と議会改革の動向」



11月5日、伊賀市と名張市の市議会議員で構成する「伊賀市・名張市議会連絡協議会」の研修会を開催し、両市の議員29人が参加しました。

本年度は、早稲田大学名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所顧問 北川正恭^{きたがわまさやす}さんを講師に迎え、「VUCA時代における地方議会の展望と議会改革の動向」と題し、地方自治を取り巻く現状における議会、議員に求められている役割やあり方、また、現在、全国で進められている議会改革の動向などについて詳しくお話をいただきました。

研修テーマである「^{フーカ}VUCA」とは、先行きが不透明で将来の予測が困難な状態であることを意味する造語です。VUCAやDXの時代である現代は、新しい価値を見出す時代であり、これまでとは違う新しい議会像を作り上げることがとても重要だと話されました。

また、議会改革を推進するには、善政競争をすることを挙げられました。善政競争とは、他市の議会の良いところを吸収し、お互いが切磋琢磨することです。

2006年に全国市議会初の議会基本条例が制定されて以来、多くの地方議会が議会改革への取り組みに着手していますが、新型コロナウイルスによりこれまでの常識が通用しなくなった中、より柔軟性の高い議会の在り方が望まれています。

最後に、制定されてから年月が経過している伊賀市議会基本条例について、具体的な課題等を挙げて説明をいただきました。議員からは、議会改革などに関する多くの質問があり、議会改革の必要性を認識する研修会となりました。

ようこそ伊賀市議会へ!!



10/18 友生小学校

市内小学校の児童のみなさんが、議場見学にこられました。

児童のみなさんは、実際に議場に入り説明を受けた後、執行部席や議員席などに座り臨場感を体験しました。



10/20 壬生野小学校



11/2 久米小学校



11/5 柘植小学校



11/11 成和東小学校

市議会では、市の将来を担う子どもたちに議会を身近に感じてもらうため、議場見学を積極的に受け入れています。小中学生の社会見学として普段なかなか見ることのできない議場を訪れてみませんか。

令和4年3月定例会日程（予定）

2月22日（火）	本会議（開 会）
3月3日（木）	本会議（一般質問）
4日（金）	本会議（一般質問）
7日（月）	本会議（一般質問）
8日（火）	本会議（一般質問）
9日（水）	予算・決算を除く 各常任委員会
10日（木）	予算・決算を除く 各常任委員会
14日（月）	予算常任委員会
15日（火）	予算常任委員会
16日（水）	予算常任委員会
24日（木）	本会議（閉 会）

※本会議と予算常任委員会は、午前10時から始まります。
※その他の各常任委員会は、開会日に決定します。
※定例会の日程は、変更になる場合があります。

会議の内容を閲覧できます

市議会本会議等の会議録は、伊賀市ホームページや議会図書室（冊子）でご覧いただけます。

令和3年12月定例会の会議録は令和4年2月22日以降となります。

また、会議の様子は、YouTubeにて録画配信もしています。ぜひチャンネル登録をお願いします。

「伊賀市議会チャンネル」
(YouTube) はこちら⇒
(伊賀市議会ホームページ内)



ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTubeをご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

ホームページ <http://www.city.iga.lg.jp>



※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、上記までお問い合わせください。

「伊賀市議会LINE公式アカウント」開設！

伊賀市議会では、より一層の広報活動の充実を図るため、伊賀市議会LINE公式アカウントを開設し、伊賀市議会に関する情報を発信しています。ぜひ「友だち追加」をお願いします！

アカウント情報等

- (1) ソーシャルメディアサービス名：LINE
- (2) LINE表示名：伊賀市議会
- (3) LINE ID：@441kjazj

※運用方針等は、伊賀市議会ホームページにてご確認ください。

友だち追加方法

スマートフォンなどにLINEアプリをインストールして、次のいずれかの方法で「友だち追加」してください。

- ・方法1：メニューの「友だち追加」で「ID検索」を選択して、「@441kjazj」と入力して検索
- ・方法2：QRコードを読み込んで「友だち追加」



友だち追加QRコード

編集 後記

猫の飼育数は犬を上回っているそうです。今回取材で出会った皆さんは、言わば猫の「あしながさん」と言えるでしょう。取材した施設にはそれぞれ個性をもったステキな猫たちが保護されていました。

私たちの普段の暮らしで最も身近にいる猫や犬たちですが、他方で虐待や殺処分など今も怯える命も沢山あります。ここで出会った保護された猫たちが愛情を受け安心して暮らせる人との出会いを願います。

12月議会では、17名の議員が一般質問に立つと共に補正予算や請願の審査など多くの案件に真摯に向かい合いました。今後もこの紙面を通じて議会が見えるよう工夫を続けていきます。（北山）

次号は5月1日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

笑顔で進む！ ココロをつなぐ！！

伊賀の未来をつなぐ、笑顔で元気な人取材するコーナー第3弾は、猫の譲渡会を開催している「伊賀の猫好きおばさんS A I」さん取材しました。(取材日：令和3年11月14日 取材場所：伊賀市上野丸之内 新天地 Otonari)

— 具体的にどのような活動をされていますか？

約10年前、上野の天神さん周辺で増えた野良猫に不妊手術をしたことがきっかけで、行き場をなくしてしまった猫を保護する活動をはじめました。預かりボランティアさん、お掃除ボランティアさんを含めメンバーは19名で活動しています。



月2回程度、「新天地 Otonari」において譲渡会を開催しています。また、地域の方から猫のお世話についての相談を受けたり、(※)TNRをしています。

里親が見つかるまでの間、毎朝当番で譲渡会の会場にいる猫たちを部屋の中で走らせたり、掃除、餌やり、投薬をしています。他の猫たちは、預かりボランティアさんのご自宅でお世話になっています。

保護猫を家族として迎えてくださる方には、譲渡のための費用とウイルスチェック及びワクチン代を負担していただいています。また、毎日のお世話や病気になった保護猫が通院するには費用がかかるため募金をお願いしたり、地域の方からペットシートや使わなくなったゲージなどの寄付を受けとても助かっています。



— みなさんをお願いしたいことを教えてください。

猫の飼い主さんには、室内飼育と不妊手術をしていただくようお願いいたします。そのことで、私たちにくる依頼の猫が少しでも減ればうれしいです。

また、飼い猫の寿命は約15歳、野良猫は約5歳と言われています。

捨てられている猫を保護する際、ノミダニ駆除や検査にたくさん費用がかかるため、私たちの活動を知って命をつなぐご支援、ご協力をしてくださる方がいらっしやいましたら幸いです。



「伊賀の猫好きおばさんS A I」さんは、保護したすべての猫に名前をつけ、わが子のように大切にお世話されている様子がかがえました。保護猫たちにステキなご縁がありますように。

※TNR：Trap (捕獲する)、Neuter (不妊手術)、Return (元の居場所へ戻す) を実施する活動